

[特集]

## まちのおと

～人と人、まちと人をつなぐ～

私たちは、視覚、聴覚、嗅覚など五感によって様々な情報の処理をしている。  
なかでも視覚を主とした情報の処理を行っている。  
しかし、音で風景を想像できたり、映像だけで音が聞こえたりする。  
聴覚による情報の処理は視覚について大切な感覚である。

人と人が集まってまちは出来ている。  
まちは人と人の関わり合いの中に存在している。  
まちのおとはまちで生活する人とまちを結びつけるものであり、  
人と人を結びつけるものである。

まちづくりは、これまで目に見えるものを中心に行われてきた。  
まちづくりの新たな切り口として“おと”を取り上げた。  
これからのまちづくりに、“おと”という目に見えないものをどう取り入れていくべきか。  
建設コンサルタントとして、取り組むためのヒントを探る。

“本当に大切なものは、目にはみえない”(サン＝テグジュペリ)